

「ほのぼのの広場」に、あなたの身の周りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先・〒783 南国市大浦 甲三〇一 南国市役所内広報委員会まで。

釣りの秘訣

パートⅣ

趣味

浜田広信(植田)

浦戸湾の釣りは大体述べた。あえて書けば、秋のヒラメ、冬のグチ釣りがあつた。

車で少し足を延ばし、宇佐湾から須崎湾などで釣ってみるのもまた楽しい。

宇佐は横浪三里の入湾で相当広く、魚種もかなり多い。趣味として素人、友人なしに釣れるのがアマギとクロサギの二種類。いずれもチヌに以てている。時期は八月、十月ごろで、横浪では最も多い。仕掛けはコヅキかブラでよい。餌は虫類か貝。群棲を好み、これにあたると相当荷をする。太さは三十センチくらいになるが二十センチ



カット
川久保尚亮(金地)

が多い。あたりは最初に強くなるが、少し待てばそのまま掛かる。横浪は海が澄みすぎていて、日が多いので雨の降った後がよい。

次は須崎湾のスズキの夜釣りである。夜、友人のする釣りのので一般には無理かもしれない。須崎は港の内で楽だ。波はなく池の中で釣るようなもの。

毎年、四月、六月ごろが最も楽しい。そのころカツオの漁が始まると港内にサバゴやアジゴが集まってくる。夜間は光の下に集まる。それをスズキが追ってくる。

釣る方法は道糸五号でハリス三号、仕掛けはブラで少し小さい鎌

三号くらいを付け、エビを生きたまま刺す。岸壁の電気の光る所に向かって少し手前から投げる。そのとき舟の下の深さを計る。投げたエビが静かに沈む。それを繰り返すと例の通りツンとあたる。そこを天までと思つても竿を上げると掛かる。大体、須崎の火付きの魚は二、前後のものである。こ

れより東に百メートルの所が港で車の置き場があり便利だ。この漁は、あまり土地の人はやらない。独り舞台である。

最後に野見湾。これはハマチの養殖の間の網に舟をつないでチダイを釣る楽な釣りだ。

チダイは湾内で九月、十月ごろ産卵し、翌年の六月ごろから十センチくらいの幼魚が釣れる。ハマチの餌のこぼれに群れをなして付いている。八月、九月には大きくなり外洋に出て行く。それで七月が釣

りの時期である。

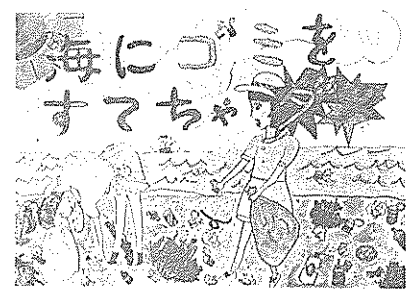
仕掛けは市販の疑似針に下のあんどんにアミを入れ、針には赤い冷凍エビを差し、上げ下げしておれば二ロギと同様にあたる。一人で五、六十尾は釣れる。それにタイを釣つたと言つて家の土産にもなる。味は相当うまい。同時に大型の二ロギやその他の小魚がよく釣れる。

野見湾は餌にまむしを持って行けば親チヌやボラ等も釣れる。残念なことにハマチの餌が多くて道糸が黄色く染まる。ハマチも時に釣れる。野見湾には西勢井と東勢井とに貸舟屋がある。東は船着き場はよいが、車が軽四でないと入れない。西は船着き場が悪いが、軽四でなくても行ける。漁場はいずれも近い。餌は売っていないので高知で準備をして行かねば釣れない。

第12回当選者発表(敬称略)
(応募総数42通)

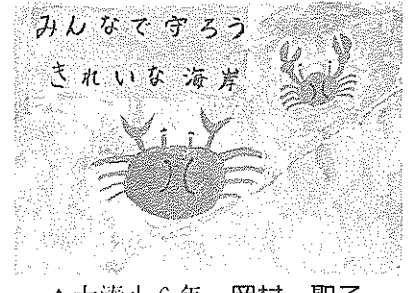
■答え・⑦⑧⑨⑩⑪

■当選者五人
小田寛範(浜改田)
坪田真明(奈路)
松本満恵(里改田)
岡田昌子(立田)
関田喜代(大地)

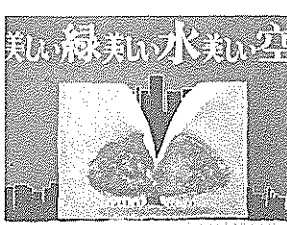


▲大湊小5年 徳田 智美

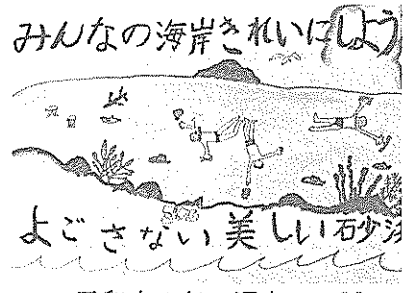
この作品は、環境週間(六月五日~十一日)、海岸愛護週間(七月一日~三十一日)の行事の一環として市、建設省高知工務事務所がそれぞれ募集したものです。



▲大湊小6年 岡村 聖子



▲北陵中2年 川村 知代



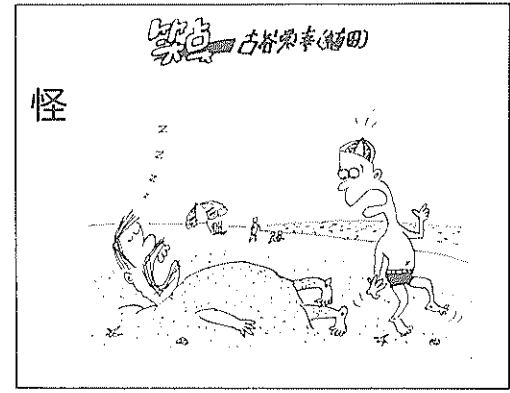
▲三和小4年 沢本 誠



▲北陵中2年 川本 美香



▲三和小4年 山岡 大起



怪

軒下を無断借用する犬もいつか眠りて月見草咲く

夏雲の盛んなる下海はただまどろむごとく真昼間を風ぐ

父に似し小さき吾の手握りしめ握りかえして父は逝きませり

大浦 田所志な
十市 山本憲彰
藤原 小松延江

南国歌壇

枇杷の実は熟れにうれつつ梅雨雲の日にかがやけ採る人なしに

こみ上ぐる熱きものあり婚の座に甲斐なき儂を重ねつついて

長雨に稲の花粉はながれしか垂れせめし穂に靴の目立つ

西野田 吉川定子
植野 永野美由
西島 門田美枝子

南国柳壇

夕立や雷さまが気にかかり線香へ湯を巻かせた思ひつき

反抗期次男を相手して過ごす

ひとりでにヌードにさせる暑さかな

里改田 田所千枝
植田 吉本其梅
十市 大家寿恵子
前浜 大原正明

南国俳壇

新緑光汽車がら空きの黄泉の園七変化万の緑を配下とし

浴窓のピヤカーテンの灯に言葉ゆるやかに流れ狭めて杜若

梅雨晴やどかり捕し溜湖熟れ麦の匂ふ夜道を貫く風呂

老鶯の声を張り出す平家村

川村ひろ子(忍冬句会)
永田ますき()
和泉八子()
岩貞米猪(おがたま会)
吉本芳子()
青木文子()
木戸 節(天狼句会)
北川京子()
中村榮生()